

NPO 総会記念

講演と討論の集い

気候危機打開・脱炭素へ

原発再稼働・新增設でいいのか 市民新電力のリーダーが語ります！

過去 1 万年の安定を破り、気温は
1.1℃上昇、いまこそ舵をきる時

科学者の警告—現在の取り組みでは 1.5℃を超える、後戻りできない限界を超えようとしていると。
日本政府—G7でも石炭火力発電廃止に反対、炭素税はやらない、再エネ電力の普及を妨害、危険な原発の復権をはかる、これでいいのでしょうか。

今こそ、市民が立ち上がる時です！



竹村英明さんがお話します

竹村さんは、反原発の運動、さらに市民の手による太陽光発電事業に取り組み、いま市民新電力グリーンピープルズパワーという電気の小売会社を立ち上げ、市民が主導する、再生可能エネルギーによる温暖化防止・カーボンニュートラルの取り組みの先頭に立って活躍されています。市民電力連絡会の代表として、各地の取り組みを激励、交流する先頭に立っておられます。

いま政府が、原発の“復権”で温暖化対策やエネルギー問題に取り組もうとしているとき、長年の活動を踏まえて、市民新電力への思いと展望、市民の役割を語っていただきます。

日時 2023年6月10日(土) 14:15開場(開始14:30 終了17:00)

会場 市民会館おおみや集会室1 (大宮駅東口5分 レイボクホールかど街ビル6F)

質疑・討論 討論のなかで、NPO 法人埼玉自然エネルギー協会の活動、「(株)彩の国でんき」の事業について報告します。

参加を希望される方—下記の連絡先にお申込みください(資料代500円 NPO 法人埼玉自然エネルギー協会会員、「彩の国でんき」パートナー、学生は無料)

主催・連絡先 NPO 法人 埼玉自然エネルギー協会 株式会社彩の国でんき

E-mail info@sainokunidenki.co.jp HP <https://sainokunidenki.co.jp>

Tel: 048-711-3197 Fax: 048-711-9336 携帯: 090-7843-8653(吉村)

NPO 法人埼玉自然エネルギー協会は、地球温暖化や原発問題、自然エネルギーについて学習し、市民共同太陽光発電事業に取り組みできました。「(株)彩の国でんき」は、この取り組みを発展させ、自然エネルギー

ともに、力をあわせ、気候危機を克服し、新しい社会をつくりましょう

気候危機—それは、いま世界と日本ですすんでいる地球環境の激変のことです。この激変は、世界の平均気温の上昇が原因です。**これをストップさせることは、現在の人類的課題**です。すでに、平均気温は1.1℃上昇していると世界の科学者は一致した認識を表明しています（2023年3月 IPCC第6次報告）。

世界は、これ以上の被害の拡大をおさえるために、世界の平均気温の上昇を、産業革命前から1.5℃未満におさえようと合意してきました（2015年パリ協定、2021年COP26グラスゴー合意）。しかし、残念ながら、現在の各国の取り組みでは、2.4～2.6℃の上昇となると予測されています（国連環境計画）。

気温上昇は、二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度に比例します。すでに温室効果ガスの濃度が415.7ppm（2021年、ppmは体積比で100万分の1）となり、産業革命前の278.3ppmの約1.5倍となっています。

そこで、世界は、2050年には二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロ（森林などの吸収分以上は排出しない、カーボンニュートラル：CNという）を目標に、2030年には45%削減（2010年比）、2025年には増加をストップさせ減少に転じさせることを目標としてきました。

この目標を実現するには、発電、自動車などエネルギー使用分野、農業、鉄鋼、化学、製造業など、あらゆる分野で、脱炭素を実現する、エネルギーの消費を削減する（断熱化などの省エネ）、新しい社会・経済をつくりあげる、人類の挑戦が求められています。気候危機をストップさせなければ、生態系も激変、農業・水産業も大打撃をうけ、いまの地域では暮らしていけない気候難民が世界でも日本でも生まれます。

エネルギーを原発に頼ることはできません。しかし政府は、脱炭素へ、原発をメインにしようとしています。事故が起きれば日本を壊滅させ、事故がなくても数万年にわたり放射能で生命を脅かし、標的となる「原子爆弾」を抱えていることとなります。

気候危機克服の人類的な課題への挑戦は、主権者である国民・市民が立ち上がってこそ、実現への展望が切り拓かれます。

私たちは、市民共同太陽光発電事業というささやかな実践をへて、自然エネルギーの地産地消で、脱炭素の方向を前進させようと、**市民立の公企業「彩の国でんき」**（2022年7月末資本金2210万円）を設立しました。

お願い

- ◆あなたが発電している電気を「彩の国でんき」に提供してください。卒FIT電気（買取価格の終了した余剰電力）は高い価格で買い取ります。
- ◆自然エネルギー（再生可能エネルギー）電気を供給する「彩の国でんき」から電気を購入してください。電気の仕入原価が高騰、厳しい経営にありますが、産まれた利益は、自然エネルギーの開発、県民の福祉など地域の利益に還元します。
- ◆公共的施設などと契約し、太陽光発電設備と蓄電池を設置し、発電した電気を購入していただく「電力購入契約 PPA事業」をすすめます。そのため、CN未来基金（脱炭素・脱原発、エネルギーの地産地消をめざす基金）への募金（1口2000円）を呼びかけています。
- ◆市民が出資して設立した「彩の国でんき」への出資（1口5万円で2口以上）を呼びかけています。（ご連絡いただければ、詳細をご説明させていただきます。連絡先は、オモテの面にあります。20230517）